

供覽

3

接 受	昭 和 十 一 年 七 月 十 五 日	決 裁	昭 和 十 一 年 七 月 十 五 日	書 淨	合 校	送 發
起 案	昭 和 十 一 年 七 月 十 五 日	施 行	昭 和 十 一 年 七 月 十 五 日	結 算	昭 和 十 一 年 七 月 十 五 日	昭 和 十 一 年 七 月 十 五 日

管理局長

管理課長

主任

次官

文書課長

兼

政務次官

秘書課長

參與

臺灣ニ於ケル國體明徴ニ關スル請願ノ件

標記ノ件内閣書記官長ヨリ書類轉送越候處本件ハ昭和十一年五月十一日衆議院第二分科請願委員會ニ於テ政府ニ參考送付ト決定セラレタルモノニシテ別段考慮ノ必要有之モノニ付此儘
供高覽候

拓務省

起案用紙三枚ノ一

11.7.10
拓務省

11.7.10
拓務省管理局

内閣衆乙第二九六號

昭和十一年七月九日

内閣書記官長藤沼 庄

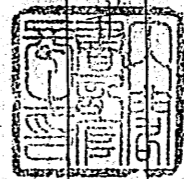
拓務次官入江海平殿

別紙衆議院回付(参考)

一 國體明徴ニ関スル請願

右貴省主管ノ件ニ付書類及轉送候

内閣



昭聖 五十四日呈出
請願第九號

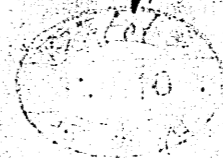
國體明徴ニ因テ請願書

総中議員

山下谷次

衆乙 三九六

徳久 力任 益次
外五名



國體明徴關スル請願書

請願ノ要旨


臺灣ノ行政司法首腦部ニ該ル人事ノ
大刷新ヲ断行シ以テ國體明徴ノ實効
ヲ期セラレ度件
御詮議被下度此段及請願候也


理由


臺灣ニ於テハ 天皇機関説ノ取締ヲ
爲サザルノミナラズ取締官憲夫レ
自體ニ於テ自由主義萬能ノ觀アリ
爲メニ 天皇機関説信奉者並ニ同


出版物ハ之ヲ庇護シ反對ニ日本主
義者ニハ言論通信ニ彈壓ヲ加ヘ加
之警察権ヲ乱用スル等政府聲明ノ
趣旨ト全ク相反スル傾向アリ
若シ此儘推移セシメカ臺灣統治
方針ナル五百萬島民ノ同化政策ヲ
根本的ニ覆シ更ニ軍事上憂々敷事
態ヲ惹起スル虞アリ

昭和十一年五月

台北州台北市新榮町二丁目三番地
請願人 賣藥商 小佐井益次 

台北州臺南市本町三丁目壹番地
請願人 衛生工事設計監督佐川安 

台北州臺南市千歲町一丁目三番地
請願人 蒲鉾製造業 片野友市 

台北州台北市大安土甲四百十七番地
請願人 雜貨賣商 池田嘉次郎 
明治廿四年七月六日生

台北州臺北市大和町二丁目八番地
會社員 請願人 淺田米豊 

明治廿拾參年四月廿八日生

台北州基隆市八船町三丁目八番地
土木建築業請願人 中本儀太郎 

明治二十三年七月四日生

衆議院議長 尾崎士郎 殿

請願委員第二分科會議錄速記第一回 (昭和十二年五月十一日)

小高主査 ソレカラ日程ヲ繰上ケマシテ日程第三十七、國体明徴ニ關スル件、文書表第九號ヲ議題ニ供シマス。山下谷次君 山下谷次君 是モ内地ニ於ケル國体明徴デハナイノデアリマス、所謂臺灣ニ於キマス所ノ國体明徴ヲ徹底的ニヤツテ載キタイト云フノデアリマス、ハツキリト分リマセヌガ、アチラノ官吏ノ中ニハ天皇機關説ヲ奉ジテ居ル者ガ多イヤウナ話ヲ聞イテ居ル、誰ガドウ、是ガ斯ウト云フコトハ分リマセヌ、併シナガラ中々機關説信奉者ガ多イヤウデアル、是等ヲ内地ニ於ケルト同様ニ徹底的ニ調査致シマシテ所謂國体明徴ニ資シテ賞ヒタイト思フ、所ガ臺灣總督ニ於キマシテモオカシイ、私昨年ノ夏參リマシ

拓務省

タ時ニモ國体明徴ノ話ハシテ吳レルナト云フ話デアリマス、併シナガラ私ハ或ル範圍ノ、別ニ御差支ナイヨウナコトヲ話シマシタガ兎ニ角國体明徴問題ハ余リヤツテ吳レルナト云フヤウナ御話、ソレカラ後ニ色々話ヲ聞イテ見ルト國体明徴ノ爲メ、即チ日本主義ヲ宣傳スルト云フ所ノ本デアルトカ、集會デアルトカ云フモノニハ相當ノ壓迫ヲ加ヘテ居ルヤウデアアルガ天皇機關説信奉者、或ハ斯ウ云フモノニ關係シタ出版物ハ多少庇護スル嫌ヒガアルノデアリマス、ソレデスカラ私共ハ之ニ書イテアリマス通り、所謂臺灣ニ於ケル官吏ノ大更迭ヲ行ツテ國体明徴ガ徹底スルヤウ希望致シタイト云フ意見デアリマス、是ハ別ニ臺灣ニ於ケル一種ノ特別ナル問題ニアラスシテ、日本ノ國体明徴

タイプライター用紙

(日本標準規格B-4)

ト關聯シタ問題デアリマスカラ、臺灣デアルカラト言ツテ特別ナル考ヲ持タスシテドウカ御採擇下サランコトヲ切ニ御願致シマス

林政府委員 國体明徴ニ關シマシテハ臺灣ニ於キマシテモ中央政府ノ方針ニ準據致シマシテ各方面ニ亘ツテ機宜ノ處置ヲ講ジツツアルノデアリマス、尙ホ天皇機關説ニ關シマシテモ十分取締ヲ加ヘマシテ國体ノ明徴上遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス、仍テ本請願ハ採擇セラレナイヤウニ希望スル次第デアリマス

平塚政府委員 只今政府委員ヨリ御説明ガゴザイマシタガ私モ尙附加ヘマシテ、只今山下サンノ御説明中ニアリマシタ點ニ關シ

拓務省

マシテ臺灣ノ實際ノ狀況ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、國体明徴ノ點ニ付キマシテハ只今政府委員ヨリ申サレタ通りデ臺灣ニ於キマシテモ此ノ問題ニツキマシテハ殊ニ異民族ヲ多數包容致シテ居マスル臺灣デゴザイマスカラ、特ニ慎重ナ注意ヲ拂ツテ居ル譯デアリマス、教科書ニ於キマシテモ或ハ言論ノ方面ニ於キマシテモ、此點ニ付キマシテハ格段ナル注意ヲ致シテゴザイマスルノデ、此問題ガ我國ニ唱ヘラレマシタ昨年初メヨリ致シテ臺灣ニ於キマシテハ其ノ取締ニ關シマシテハ、殆ト徹底的ト申上ゲテ差支ガナイ取締ヲヤツテ居ルノデアリマス、此點ハ山下サンモ臺灣ヲ御覽下サイマシタカラ大体御了解下サツテ居ルコトト考ヘマスルガ今オ話ノ中ニ於キマシテ國体明徴ニ關ス

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

ル講演會ニ付テハ之ヲ抑ヘテ許サヌデ、サウシテ其事ニ反對シ
タヤウナコトニ付テハ認メテ居ルト云フヤウナ意味ノ御引用ガ
アツタノデアリマス、是ハ一應私ヨリ説明申シ上ゲテ置キタイ
ト思フノデアリマス、國体明徴ノコトニ付キマシテハ前段申述
ベマシタ通デアリマス、唯異民族ヲ多數持ツテ居リマスル臺灣
ニ於キマシテハ色々ノ思想問題、其他ノ實情ヨリ致シマシテ、
内地ニ於テ唱ヘラレマシタ國体明徴ト云フコトカドウイフ意味
デアルカト云フコトサヘ臺灣ノ一般民衆ハ了解ヲシテ居ラヌト
云フヤウナ狀況ニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ何モ知
ラナイデ居ル際ニ當リマシテ内地同様ナ各種ノ論議ヲ臺灣ニ於
テセラレマスコトハ、却テ思想問題善導ノ上ニ於キマシテ、甚

拓 務 省

ダ欣ブベカラザル結果ヲ招來スルト考ヘマスルノデ會合ノ如何
ニ依リマシテハ懇談ヲ致シマシテ、ソシテ其會ヲ見合シテ貰ヒ
、或ハ國体明徴ト云フコトニ付テハ余リ多クヲ論議セヌト言フ
ヤウナ風ニ御懇談ヲ申上ケタヤウナコトモアルノデアリマス、
併シ一方ニ於キマシテ臺灣ノ統治ノ上ニ於ケル同化政策ト云フコ
トニ付テハ前回ニモ申述ヘマシタ通りニ總督府ノ統治方針ト致
シマシテ徹底的ニ之ヲ行ツテ臺灣ノ島民ヲ日本國民ト同化スル
、日本國民タラシムルト云フコトニ付マシテハ教育ノ方面ナリ
、或ハ社會ノ方面ナリ、其他ノ各般ノ行政上ノ手段ヲ盡シマシ
テ所謂同化ノ政策ヲ行フニ付テ云フ意味ニ於テハ徹底的ニ努力ヲ
致サウト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、又現在數年間

タイプライター用紙

(日本標準規格 B 4)

之ヲ努力致シマシテ稍々其ノ結果ヲ認ムルニ致ツタヤウナ次第
デアリマス、左様ナ譯デアリマスノデ官吏ノ中ニ於テドウモ國
体明徴ニ疑ヲ狹ムヤウナ者ガアル如キ御話ガアリマシタコトハ
私、臺灣ニ居リマス者ト致シマシテ洵ニ遺憾ニ考ヘル所デアリ
マス、從來教科書ヲ作りマシタモノニ關シマシテハ此問題ノ生
スル前ニ既ニ臺灣ヲ去ツタ人モアルノデアリマス、是ハ昨年或
ル委員會ノ際ニモ答辨ヲ申上ケテ置イタヤウナ次第デアリマス
、又教科書等ニ付キマシテモ全部之ヲ改メテアリマス、左様ナ
關係デアリマスノデ、是等ノ點ニ於キマシテハ山下君ノ御引用
ガゴザイマシタカラ臺灣ノ實際ノ狀況ヲ申上ケテ置ク次第デア
リマス。

拓務省

中村（又）委員 本件ハ非常ニ大キナ問題デゴザイマシテ性質上
カラ考ヘマシテモ直チニ採擇ハ困難デアル様ニ思ハレマスサリ
トテ不採擇ト云フコトハ民意ヲ全然塞グト云フヤウナ結果ニモ
相成リマスルカラ、参考送付ヲ以テ御決定アラシコトヲ望ミマ
ス

小高主査 中村君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

山下谷次君 一寸・・・参考送付モ致シ方ゴザイマセヌガ、臺灣
ノ問題ダトカ、朝鮮ノ問題ナラバ大抵不採擇トカ或ハ政府参考
送付デアリマスガ國体明徴ヲ徹底スルト云フコトハ何處カ一体
悪イノデスカ、私、林參與官ニ聽キタイ、國体明徴ニスルコト
ハ何處ガ悪イカ如何ニ國体明徴ニナツテ居ラウトモ、新シク生

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

レテ來ル人、新シク彼處ニ渡ツテ來ル人ガアルノデスカラ、國
体明徴ハ一日タリトモ疎カニスベキモノデハナイ、之ヲ徹底ス
ルト云フコトハ一向ニ悪イコトデハナイ、臺灣ノ問題、朝鮮ノ
問題デアルト云フト、何ンデモ彼デモ否決スル、是ハ甚ダ私ハ
宜シクナイト思フ、ドウカ此ノ請願委員會ハ此ノ委員會ノ權威
ヲ以テマシテ然ルヘク諸君ノ御判断ニ依リマシテ御採擇ナリ、
或ハ否決リシテ載キタイ政府參考送付ト云フヤウナ生温イコト
ハオヤリニナラズニキツバリトヤラレタ方ガ宜シイト思ヒマス
林政府委員 山下君ノ御尋ネデアリマスガ、此ノ請願ノ要旨ヲ拜
見シマスルト云フト臺灣ノ「行政司法首脳部ノ人事刷新ヲ斷行
シ以テ國体明徴ノ實效ヲ期セラレタシ」斯フイフノデアリマス

拓
務
省

而シテ其ノ理由ニ於キマシテハ「臺灣ニ於テハ天皇機關説ノ
取締ヲ爲サザルノミナラス、取締官憲ソレ自体ニ於テ自由主義
萬能ノ觀アリ爲ニ天皇機關説信奉者竝同出版物ハ之ヲ庇護シ反
對ニ日本主義者ニハ言論、通信ニ彈壓ヲ加ヘ、加之警察權ヲ亂
用スル等政府聲明ノ趣旨ト全ク相反スル傾向アリ」斯フ云フ理
由ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ臺灣ニ於ケル國体明徴ニ
付テノ臺灣當局ノ取扱ツテ參ツテ居リマスル実績ハ、先刻平塚
總務長官ヨリ詳細御説明ニナリマシタ通りデアリマシテ此ノ請
願ノ要旨及ビ理由ニ列ネラレデアリマスルカ如キ事實ハ之ヲ認
メ得ナイノデアリマス、故ニ此ノ請願ニ付キマシテハ事實相違
ノ理由ニ依ツテ請願サレテアルノデアリマスカラ政府トシテハ

タイプライター用紙

(日本標準規格B4)

採擇セラレナイヤウニ希望スル次第デアリマス
中村（又）委員 曩ニ申シマシタ通り本案ハ直チニ政府参考送付
ニ御決定アラシコトヲ望ミマス
小高主査 中村君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
小高主査 政府参考送付ト決定シマシタ

以上

拓務省

タイプライター用紙

(日本標準規格 B4)

REEL No. A-0575

0059

アジア歴史資料センター

接 受 昭 和 十 九 年 五 月 八 日	第 號	決 裁	昭 和 十 九 年 五 月 八 日
起 案 昭 和 十 九 年 五 月 八 日		施 行 昭 和 年 月 日	完 結 昭 和 年 月 日
			書 淨
			合 校
			送 發

管理局長

管理課長

主任

次官

文書課長

大臣

政務次官

參與官

臺灣ニ於ケル國體明徴ニ關スル請願ノ件

首題ノ件ニ關シ今般臺北市小佐井益次外五名ヨリ別紙寫ノ通衆議

拓務省

院ニ請願書提出有之候處本件ニ對シテハ政府ノ意見左案ノ通決定

答辯相成可然哉

仰高裁

(起案用紙二號ノ一)

政府ノ意見

國體明徴ニ關シテハ臺灣ニ於テモ中央政府ノ方針ニ準據シ各方面ニ
亘リ機宜ノ處置ヲ講シツツアルハ勿論天皇機關說等ニ關シテモ充分
取締ヲ加ヘ國體ノ明徴上遺憾ナキヲ期シツツアリ仍テ本請願ハ採擇
セラレサラムコトヲ望ム

拓務省

(並美濃紙十行インク止全)

参 考

臺灣ニ於テハ學校教育上特ニ我カ國體ノ本義ヲ明徴ナラシメ忠良有
爲ノ國民ヲ教養スルコトニ重點ヲ置キ國民精神ノ涵養ト之カ徹底ト
ニ最大ノ努力ヲ拂ヒ來タレリ

昭和十年四月文部省訓令同年八月竝十月國體ノ本義明徴ニ關スル政
府ノ聲明アルヤ全島各官衙長直轄學校長宛同趣旨ノ訓令、通達、依
命通牒ヲ發シ之カ趣旨徹底ニ努メタル外本廳及各官衙ニ於テハ右訓
令、通達、依命通牒ヲ其ノ都度複寫ノ上全廳員ニ配付熟讀セシメ又
ハ全員ヲ一堂ニ集合セシメテ訓示ヲ爲シ或ハ科外講演會、講習會等
ヲ開催シ學校教職員兒童、生徒、學生ニ之カ講演ヲ行ヒ又ハ神社參

拓 務 省

拜ヲ爲サシムル等常ニ國民精神ノ涵養ニ意ヲ致シ益々建國ノ大義ニ
基キ日本精神ヲ作興セシメ以テ國民ノ教育教化ノ完璧ヲ期シツツア
ルモノナリ尙國體ノ本義ニ悖ルカ如キ言説ニ對シテハ常ニ之カ取締
ヲ怠ラス天皇機關說信奉者竝同出版物ヲ庇護シ日本主義者ノ言論通
信ニ不當ノ彈壓ヲ加ヘ又ハ警察權ヲ亂用セル等ノ事實ナシ

(並發部紙十行ノク止セ)

寫

昭和十一年五月四日呈出
請願九號

請願人 小佐井 益 二

外 五 名

國體明徴ニ關スル請願書

紹介議員 山下 谷 大

國體明徴ニ關スル請願書

請願ノ要旨

臺灣ノ行政司法首腦部ニ該ル人事ノ大刷新ヲ斷行シ以テ國體明徴ノ
實效ヲ期セラレ度件
御詮議被下度此段及請願候也

拓務省

理由

臺灣ニ於テハ天皇機關説ノ取締ヲ爲サザルノミナラズ取締官憲夫レ
自体ニ於テ自由主義可能ノ觀アリ爲メニ天皇機關説信奉者並ニ同出
出版物ハ之ヲ庇護シ反對ニ日本主義者ニハ言論通信ニ彈壓ヲ加ヘ加之
警察權ヲ亂用スル等政府聲明ノ趣旨ト全ク相反スル傾向アリ
若シ此儘推移セシメンカ臺灣統治方針ナル五百万島民ノ同化政策ヲ
根本的ニ覆シ更ニ軍事上憂々敷事態ヲ惹起スル虞アリ

昭和十一年五月

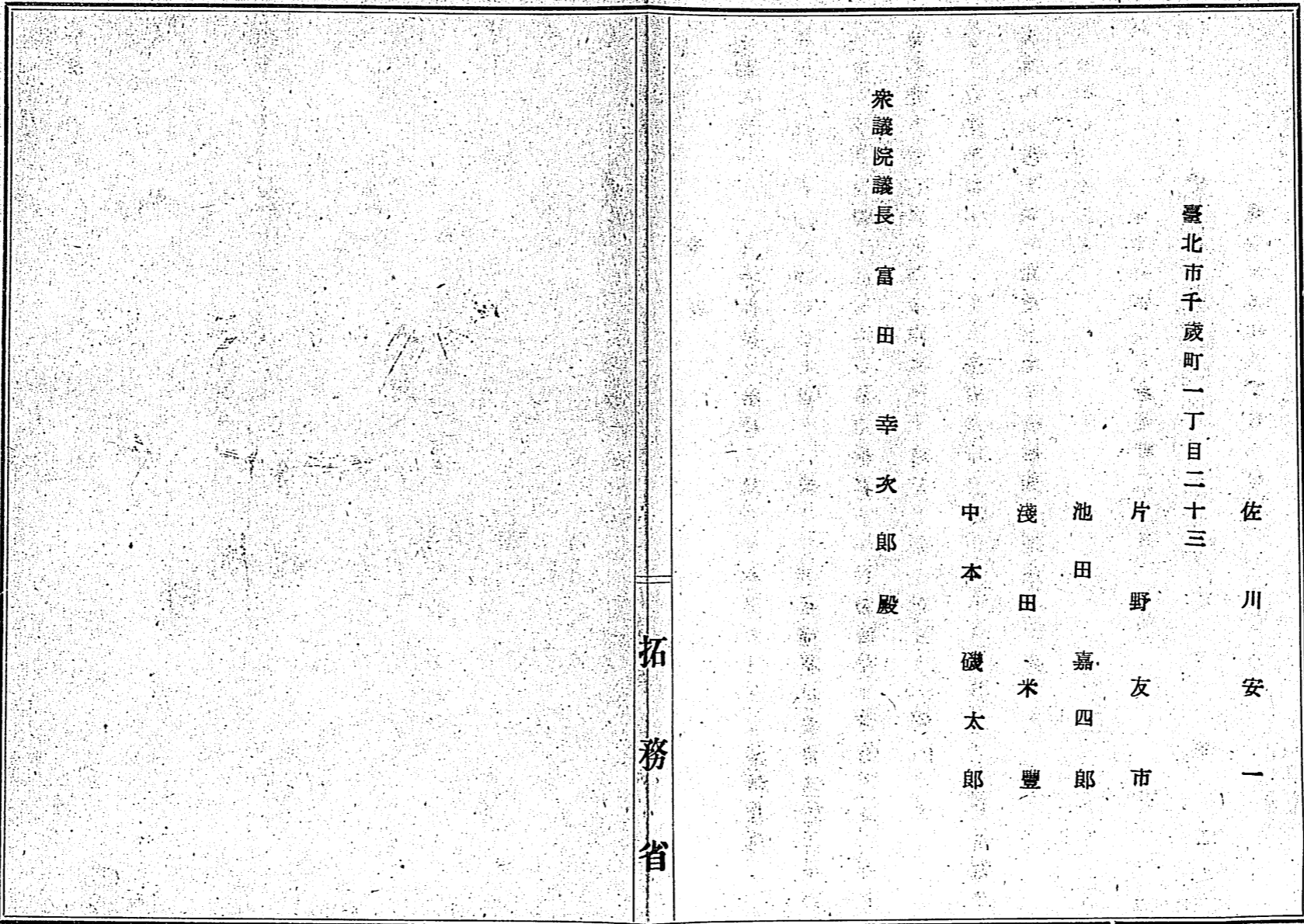
臺北州臺北市新榮町二丁目二十二

請願人 小佐井 益 二

臺北市本町三丁目一番地

マイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)



臺北市千歲町一丁目二十三

佐川安一

片野友市

池田嘉四郎

淺田米豐

中本磯太郎

衆議院議長 富田 幸次郎 殿

拓務省

タイプライター用紙

(日本標準規格B-4)

REEL No. A-0575

0054

アジア歴史資料センター

寫

接 受 昭 和 年 月 日	第 號	決 裁 昭 和 年 月 日	書 淨
起 案 昭 和 年 月 日		行 施 昭 和 年 月 日	校 合
		完 結 昭 和 年 月 日	發 送

管理局長



次官

文書課長

局長

課長

主任

九月十一日
分科會
政務三事
石下ノ快

大臣

政務次官

參與官

臺灣ニ於ケル國體明徴ニ關スル請願ノ件

首題ノ件ニ關シ今般臺北市小佐井益次外五名ヨリ別紙寫ノ通衆議

拓務省

院ニ請願書提出有之候處本件ニ對シテハ政府ノ意見左案ノ通決定

答辯相成可然哉

仰高裁

(起案用紙二號ノ一)



政府ノ意見

國體明徴ニ關シテハ臺灣ニ於テモ中央政府ノ方針ニ準據シ各方面ニ
亙リ機宜ノ處置ヲ講シツツアルハ勿論天皇機關說等ニ關シテモ充分
取締ヲ加ヘ國體ノ明徴上遺憾ナキヲ期シツツアリ
仍テ本請願ハ採擇セラレサラムコトヲ望ム

拓務省

(並美濃邦紙十行インク止色)

参 考

臺灣ニ於テハ學校教育上特ニ我カ國體ノ本義ヲ明徴ナラシメ忠良有
爲ノ國民ヲ教養スルコトニ重點ヲ置キ國民精神ノ涵養ト之カ徹底ト
ニ最大ノ努力ヲ拂ヒ來タレリ

昭和十年四月文部省訓令同年八月竝十月國體ノ本義明徴ニ關スル政
府ノ聲明アルヤ全島各官衙長直轄學校長宛同趣旨ノ訓令、通達、依
命通牒ヲ發シ之カ趣旨徹底ニ努メタル外本廳及各官衙ニ於テハ右訓
令、通達、依命通牒ヲ其ノ都度複寫ノ上全廳員ニ配付熟讀セシメ又
ハ全員ヲ一堂ニ集合セシメテ訓示ヲ爲シ或ハ科外講演會、講習會等
ヲ開催シ學校教職員兒童、生徒、學生ニ之カ講演ヲ行ヒ又ハ神社參

拓 務 省

拜ヲ爲サシムル等常ニ國民精神ノ涵養ニ意ヲ致シ益々建國ノ大義ニ
基キ日本精神ヲ作興セシメ以テ國民ノ教育教化ノ完璧ヲ期シツツア
ルモノナリ尙國體ノ本義ニ悖ルカ如キ言説ニ對シテハ常ニ之カ取締
ヲ怠ラス天皇機關說信奉者竝出版物ヲ庇護シ日本主義者ノ言論通
信ニ不當ノ彈壓ヲ加ヘ又ハ警察權ヲ亂用セル等ノ事實ナシ

(並英通譯紙十行インク止全)

昭和十一年五月四日呈出
請願九號

請願人 小佐井 益 二

外 五 名

國體明徴ニ關スル請願書

紹介議員 山下 谷 次

國體明徴ニ關スル請願書

請願ノ要旨

臺灣ノ行政司法首腦部ニ該ル人事ノ大刷新ヲ斷行シ以テ國體明徴ノ
實效ヲ期セラレ度件
御詮議被下度此段及請願候也

拓務省

理由

臺灣ニ於テハ天皇機關説ノ取締ヲ爲サザルノミナラズ取締官憲夫レ
自体ニ於テ自由主義尠能ノ觀アリ爲メニ天皇機關説信奉者並ニ同出
出版物ハ之ヲ庇護シ反對ニ日本主義者ニハ言論通信ニ彈壓ヲ加ヘ加之
警察權ヲ亂用スル等政府聲明ノ趣旨ト全ク相反スル傾向アリ
若シ此儘推移セシメンカ臺灣統治方針ナル五百万島民ノ同化政策ヲ
根本的ニ覆シ更ニ軍事上憂々敷事態ヲ惹起スル虞アリ

昭和十一年五月

臺北州臺北市新榮町二丁目二十二

請願人

小佐井 益 二

臺北市本町三丁目一番地

マイファイター用紙

(日本標準規格 B.4)

臺北市千歲町一丁目二十三

佐川安一

片野友市

池田嘉四郎

淺田米豐

中本磯太郎

衆議院議長 富田 幸次郎 殿

拓務省

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

REEL No. A-0575

0069

アジア歴史資料センター

拓務省

請願委員會之社々顧問ヲ希望スル旨願ノ経緯

一 學務官練習所教科書問題

台本所在學務官練習所用書法教科書ニ

天皇敕諭ヲ指シテ居ルノ旨願行ハレタル旨

練習所ニ書法練習科目中ニ書法ヲ含ムス事ハ

法學通論ニ於テ甚ク大任ヲ講義シ居ルニ付

プリント代用トシテ台本所ニ於テ成行スル旨願

(日本標準規格 B5)

(片面野紙)

拓務省

論)中ニ著作ノ意義ニ関シ不穩者ト認ムル旨願

アリタル旨願ヲ以テ行ハル事案ナリ

一 土橋花房大教授旨願

元台本所大教授土橋花房

右教授ハ書法部ノ博士ノ推薦ニ當リ講義担任

ノ事定メテ序大ニ入リタル旨願ハ

上行旨願ヲ担任スル旨願トシテ台本所ニ於テ

(日本標準規格 B5)

(片面野紙)

拓務省

ニ師事シ東大七七生社ノ幹ヲタテシ後年善徳部
ヲ説ク支持スルニ至リ担任ノ行政監講座ニ善徳部
ヲ説ク向點トナシ且令博士ノ行政監講要シテ講義
資料トシテ事實アリタルニ同向點ノ演説セラルルニ
至ルヨリ善徳部ニ辭職ヲセラルル
一 成宮講師ノ向點

元台花高商講師 成宮嘉造

(片面野紙)

(日本標準規格 B.5)

拓務省

元台花高商商業及私立台花成淵各校ニ講師ト
シテ善徳部ヲ講説シ居リ且今ノ著書(日本商業史
概論)レカ其濃部博士ト評説シ同シラニ天皇様
御説ニシテ不穩者ナリト論議ノ在起ラズ成
宮ニ自費的ニ善徳部版中ノ著書場中ヲ回収シ
高商ノ講師ニ辭職セラル

(片面野紙)

(日本標準規格 B.5)

一、警官練習所教科書問題

台北市所在警官練習所用憲法教科書ニ天皇機關説ヲ採用シ居ルヤノ風説行ハレタルガ、全練習所巡查教習科目中ニ憲法ヲ含マズ、單ニ法學通論ニ於テ其ノ大體ヲ講義シ居ルモノナルカ、プリント代用トシテ全所ニ於テ作成セル教科書「法學通論」中ニ國體ノ本義ニ関シ不確當ト認メラレ、個所アリ昭和十年一月該書ノ絶版トナレルヲ機會ニ改訂ヲ加ヘタルヲ以テ現在ノ教科書中ニハ何等ノ體ノ本義ニ悖ルカ如キ記述ナシ

高全練習所ニ於ケル警官部教習科目中ニハ毎

週ニ時間死一年ニ亘リ憲法ヲ講述シ居レルカ別ニ教科書モ制定セズ從來金森徳次郎著「帝國憲法要綱」ヲ参考書トシテ使用シ居タルモノ國體ニ関シテハ上杉慎吉博士ノ新説ヲ講述シ来リ居レリ

一、土橋台北帝大教授問題

元台北帝大教授 土橋友四郎

昭和十年九月頃右土橋教授が台北帝大ニ於テ天皇機関説ノ講述ヲ為シ居ルヤノ風説アリタルヲ以テ調査シタル處 右教授ハ就任当初美濃部博士ノ推薦ニテ憲法講座担当者ノ豫定ニテ講座割當ノ都合上行政法ニラ擔任セルモノニシテ今人ハ嘗テ上杉博士ニ師事シ東大七生社ノ幹事タリシニ後年美濃部學説ヲ支持スルニ至リタル關係上担任行政法講座ニテ美濃部博士ノ著書「行政撮要」ヲ講義

資料ニ充テ居タル模様アルニ本名ハ昭和十年十二月九日辞職ノ直内地ニ引揚ゲタリ 其他全大學生ニ於テ天皇機関説乃至美濃部學説ノ講述ヲ為シ居ルモノナシ

一成宮講師問題

元台北高商講師 成宮嘉造

右者台北高等商業及私立台北成淵學校の講師トシテ憲法ヲ講述シ居リシ處 昭和九年五月頃本名ノ著書「日本憲法概論」ガ美濃部博エト所説ヲ全シリスル天皇機關説ニシテ台湾ノ如ク多數新附民衆ヲ包摂スル地域ニ於テ斯種學説ヲ講述スルニトハ不穩當ナリトノ論難ノ聲早起リタル為メ成宮ハ今五月末迄ノ間ニ於テ自發的ニ委託販賣中ノ著書残本ヲ回収且テ絶版トセリ
因ニ右著書ハ成宮ノ自費出版ニシテ發行部數ハ

發行部數 五〇〇部

内嶋内販賣 四〇〇部 (内贈呈六〇)

・ 嶋外販賣 八〇部 (内贈呈六〇 他ハ東条丸善藏書堂)

残本 一五部

尚成宮ハ昭和十年三月十五日囑託校ヲ解囑セラレ爾來全ク學究的立場ヨリ絶縁台北ニ於テ實業ニ從事中ノ處思ハレカラザルヨリ本年三月就職ノ為ト称シ上海ニ向ケ出帆セリ

右出版物ニ對スル者苟シ處置トシテハ本人ノ自發的残本處理絶版ヲ確認シ將來ヲ注意スルニトセリ

秘

臺灣ニ於ケル國体明徴ニ関スル處置概要

(主トシテ學校教育關係)

臺灣總督府

文 教 局 學 務 課

REEL No. A-0575

0075

アジア歴史資料センター

臺灣ニ於テハ學校教育上特ニ我ガ國體ノ本義ヲ明徴ナ
ラシメ忠良有爲ノ國民ヲ教養スルコトニ重点ヲ置キ國
民精神ノ涵養ト之ガ徹底トニ最大ノ努力ヲ拂ヘリ
今最近ニ於ケル概況ヲ列擧スレバ次ノ如シ

一、昭和八年度ヨリ學校教育關係者ヲ網羅シ時局ニ対ス
ル認識ヲ深メ奉公ノ誠ヲ效サンガ爲月額教職員ハ五
錢乃至十錢學生生徒兒童ハ二錢乃至五錢ヲ節約醸出
シ既ニ陸軍省ニ重爆愛國機第一一六號ヲ臺灣國防義
會航空部ニ單發偵察機臺灣學校號(第一號)ヲ夫レ
ノ獻納シ今尚醸金ヲ繼續実施シツツアリ

二、昭和九年度ニハ地方長官會議、中等學校長會議、初
等學校長會議ヲ開キ「國民精神涵養ニ關スル具體的
意見ヲ徴シ具體的方策ヲ作成シ之ニ依ツテ教育教化
ノ徹底ニ努力セリ

三、昭和九年度ニ於テ教育關係者ヨリ「國民精神涵養ニ
關スル具體的方策」ニ就キ研究論文ヲ徴シ其ノ優良
ナルモノヲ發表シ實際教育ノ参考ニ資セシメタリ

四、昭和十年四月十日文部省ニ於テ訓令第四號ヲ以テ地
方長官並各學校長ニ対シ國體ノ本義明徴ニ關スル訓令
ヲ發セラルルマ 昭和十年四月十七日別紙ノ通訓令

シ昭和十年八月國體ノ本義明徹ニ関スル政府聲明ノ
趣旨徹底方ニ関シ全十四日全島各官衙長宛總務長官
名ヲ以テ別紙ノ通依命通達シ更ニ昭和十年十月右ニ
関シ政府ノ聲明ヲ發セラルルマ全月二十五日全島各
官衙長宛總務長官名ヲ以テ別紙ノ通依命通達シ益々
建國ノ大義ニ基キ日本精神ヲ作興セシメ以テ國民ノ
教育教化ノ完成ヲ期シタリ

訓令第二十號

直轄學校

廳州

方今内外ノ情勢ヲ嘗フルニ刻下ノ急務ハ實ニ建國ノ大義ニ基キ日本精神ヲ作興シ國民的教養ノ完成ヲ期シ由テ以テ國本ヲ不拔ニ培フニ在リ我ガ尊嚴ナル國體ノ本義ヲ明徴ニシ之ニ基キテ教育ノ刷新ト振作トヲ圖リ以テ民心ノ嚮フ所ヲ明ニスルハ文教ニ於テ喫緊ノ要務トスル所ナリ此ノ非常ノ時局ニ際シ教育及學術ニ関與スル者ハ真ニ其ノ責任ノ重且大ナルヲ自覺シ敍上ノ趣旨ヲ體シ苟モ國體ノ本義ニ疑惑ヲ生ゼシムルガ如キ言説ハ嚴ニ之ヲ戒メ常ニ其ノ精華ノ發揚ヲ念トシ之ニ由テ自己ノ研鑽ニ努メ子弟ノ教養ニ勵ミ以テ其ノ任務ヲ達成センコトヲ期スベシ

昭和十年四月十七日

臺灣總督 中川健藏

總文第二五六號

昭和十年八月十四日

總督長官

各官衙長宛

國體ノ本義明徴ニ付政府聲明ニ關スル件

昭和十年八月三日政府ニ於テ國體ノ本義明徴ニ關シ別
紙寫ノ通聲明發表相成候條御了知ノ上之ガ趣旨徹底ニ
關シ遺憾ナキヲ期セラレ度

右板命通達ス

總文第二五六號ノ一

昭和十年十月二十五日

總督長官

各官衙長宛

國體ノ本議明徴ニ関スル件

首題ノ件ニ関シ昭和十年八月十四日附總文第二五六號
ヲ以テ依命通達ノ次第モ有之候處更ニ十月十五日内閣
ニ於テ別紙寫ノ通聲明相成候旨通知越候條御了知ノ上
之カ徹底ニ付遺憾ナキヲ期セラレ度
右依命通達ス

関係教官調

台北高等商業学校	〃	〃	台北帝國大学	學校名
憲法	政治学政治史	憲法	行政法	擔任
講師成宮嘉造	〃 堀 豊彦	〃 井上孚磨	教授土橋友四郎	官職氏名
美濃郡博士ノ門弟 本人ノ著書ハ島内ニハ全クナシ	試験問題ニテ重要教授ヲ説キ知ル所ヲ記セテ出題シタルニナルモ世論ニ鑑ミ學生ノ感情ヲ察セントシテ過于美濃郡博士ノ著書ヲ参考トシテ用ヒタルコトアリ	寛博士ノ門弟	上杉博士ノ門弟	摘要

REEL No. A-0575



起 案	接 受	第 號	決 裁	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	完 結	昭 和 年 月 日	書 淨	合 校	送 發
昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日									

局長

課長

主任

文書課長

次官

大臣

政務次官

參與官

臺灣省政府作冊徵之國之請願ノ件
首題ノ件ノ國ノ令般台北市ノ佐井益次

石 務 省



拓務省

外五右ノ別紙寫ノ通衆議院ニ請願書提
出有之候度申付ニ對シテハ政府ノ意見左様
ノ通決定答申相成可申哉
仰高哉

(起案用紙二號ノ二)



政府ノ意見

國體明徴ニ關シテハ臺灣ニ於テモ中央政府ノ方針ニ準據シ各方面ニ
 亘リ機宜ノ處置ヲ講シツアルハ勿論天皇機關說等ニ關シテモ充分
 取締ヲ加ヘ居ルヲ以テ國體ノ明徴
 仍テ本請願ハ採擇セラレサラムコトヲ望ム

拓務省

(並表紙第十行インク止全)

政府ノ意見

國体明徴ニ関シテハ臺灣ニ於テハ中央政府
ノ方針ニ準據シ右方面ニ重ク機宜ノ處
置ヲ講シツツアルハ勿論天皇機関説等
ニ関シテハ充分取締ヲ加ヘ居ルヲ以テ國体
ノ明徴ニ関シテハ些々遺憾トスル所ナシ
仍テ本誌願ハ採擇セラレサラムコトヲ望ム

拓務省

臺灣ニ於テハニテ校教育上特ニ我々國体ノ主義ヲ明徴
シテ示シ忠良有為ノ國民ヲ教育スルニ重ク其ヲ要ス

國民轉移ノ涵養ト之ニ徹底トシ最大ノ努力ヲ
拂ヒ来タレリ

昭和十年四月二十日 文部省訓令 同年八月 陸軍省訓令
件ノ主義明徴ニ関スル政府ノ聲明アルヤ否

(日本標準規格 JIS)

片面野紙

拓務省

右官衛長 直轄学校長宛訓令、通達、依市道
様方者之方期旨徹在、男々多、勿能、各官衛
ニ於テハ在訓令、通達、依市道、其一部度、復
寫ノ上全麻、欠之配付、然読セシメ、又ハ全頁ヲ一巻ニ集
合シテ、訓示ヲ為シ、或ハ科ハ講演會、講習會等ヲ
開儀、学校教職員、児童、生徒、方之生、之ノ講

（片面昇紙）

（日本標準規格 B.5）

拓務省

演フ所トス、神、其考辨、ヲ存シ、レハ、等、常、之、國民
精神、ノ、涵養、ニ、志、ヲ、致、シ、益、ニ、建、國、ノ、大、義、ニ、基、キ、
以、テ、精神、ノ、作、興、之、ヲ、為、シ、民、ノ、教育、修、化、ノ、究、極
ヲ、期、シ、ソ、フ、ル、ヤ、^{ナリ、}高、^{キ、}未、嘗、機、関、能、ク、前、進、シ、ト、因、仰、
ノ、如、義、ニ、修、ル、カ、如、キ、言、説、ニ、對、シ、テ、ハ、常、ニ、之、カ、旨、仰、リ、
念、ヲ、ス、諸、科、ノ、修、養、ニ、力、ヲ、加、シ、大、學、校、周、邊、修、養、名

（片面昇紙）

（日本標準規格 B.5）



拓務省

註同出物ヲ底獲シ即之義者非シ言論道徳ニ
不考ノ彈丸ノ砂人各其學業概ク乱用シ之ル如キ事
言非難ナシ

(外面野紙)

(日本標準規格 B5)

REEL No. A-0575



アジア歴史資料センター

臺灣ニ於ケル國體明徴ニ関スル請願書
 五月四日受付
 紹介議員 山下谷次
 立法院
 秘書長
 秘書
 庶務

臺灣ニ於ケル國體明徴ニ関スル請願書 (五月四日受付 紹介議員 山下谷次)

請願ノ要旨

臺灣ノ行政司法首腦部ニ該ル人事ノ大刷新ヲ斷行シ以テ
 國體明徴ノ実効ヲ期セラレ度件
 御詮議被下度此段及請願候也

理由

臺灣ニ於テハ 天皇機關説ノ取締ヲ爲サザルノミナラズ取締官
 憲夫レ自体ニ於テ自由主義萬能ノ觀アリ爲メニ天皇機關説
 信奉者並ニ同出版物ハ之レヲ底護シ反テ日本主義者ニハ
 言論通信ニ彈圧ヲ加ヘ加之警察權ヲ乱用スル等政府聲明
 ノ趣旨ト全ク相反スル傾向アリ

若シ此儘推移セシメカ臺灣統治方針ナル五百萬島民ノ同化
 政策ヲ根本的ニ覆シ更ニ軍事上憂々敷事態ヲ惹起スル
 虞アリ

昭和拾壹年五月

- 臺北市 榮町ニ一 小佐井 益次
 - 本町ニ一 佐川 安一
 - 干巖町ニ一 片野 友市
 - 大正十二甲四七 池田 喜四郎
 - 大和町ニ一 浅田 米豊
 - 基隆市 八船町ニ一 中本 磯太郎
- 衆議院議長 富田 幸次郎 殿